

新山協ニュース

会長 藤井 信
 新潟県山岳協会
 長岡市学校町3-11-7
 TEL 0258-32-4835

事務局 土田幸雄
 長岡市中沢4-426-4
 TEL 0258-39-2700

編集者 遠藤家之進 正和
 上越市本城5-4-102
 TEL 0255-26-9986

花が彩る

青田南葉山

長岡ハイキングクラブ

杉本

敏



火打山をバックに青田南葉山の頂上に集う

平成11年5月22日～23日第28回自然保護研修会が、県内から8団体34名が参加され、上越市下馬場にて開会、講演会、青田南葉山949mにてブナ林観察会が実施された。

初日は下馬場多目的センターにて、室賀輝男名誉会長の挨拶にて開会。橋本副会長からのメッセージと続き、七沢自然保護委員長より、昨年愛知県鳳来町にて実施された日山協自然保護委員会総会の報告があった。

近年問題になっている、山で使用のトイレ紙の問題。テッシュ紙、ボックス紙は水に溶けないで浄化槽にて目詰まりする。山の中に白い紙のハナが咲いていることもある。登山者なら水溶性のトイレ紙を使用してもらいたい。

また国民一人当たり年間使用する紙の量は、日本人が12.37km、米国が多くて21.14km、独国は10.56km、中国は1.1kmなどの報告もあり、身の回りで無駄があるようでは、改善の余地があるのではと考えさせられる。

新山協ニュース147号で案内された、環境の日及び環境月間における各団体の取り組み

強化の要望を再度された。各団体におかれては会員各位の理解と啓蒙活動の推進をさらに計ってもらいたい。今山中から登山者のゴミが消えつつある。家庭で出来るゴミの分別、その精神の延長上で登山活動をしたいものである。

上越市が地方公共団体として全国で初めて、1998年2月環境マネジメントシステムISO14001の認証取得をされたので、環境部地球環境課みどりの町推進課の村山斉氏を講師に迎えて『緑を生かした環境にやさしいまちづくりの推進』の演題で2時間近くの講演をいただく。

市民の森形成の方向性として、西部中山間ゾーン、山麓グリーンベルトゾーン、市街地・東部田園ゾーンの各説明を資料を添えて詳細にさせていただきます。

地球環境問題の克服について(資料)

①地球温暖化

地球の平均気温は徐々に上がり続けており、21世紀末までに地球全体の平均気温が2℃上昇するといわれています。物の燃焼に伴う二酸化炭素の発生が主な原因です。

②酸性雨

石油や石炭などの燃焼による窒素酸化物や硫黄酸化物が雨に溶けて酸性雨になります。酸性雨は樹木の立ち枯れの原因となったりコンクリートや銅像などの文化財を溶かします。

③オゾン層の破壊

人体に悪影響を与える強い紫外線から私たちを守っている「オゾン層」が、破壊されつつあります。冷蔵庫やエアコンに使われているフロンガスによるものです。

④森林(熱帯林)の減少

毎年、日本の国土の4割に相当する熱帯林が地球上から消えています。主な理由として、焼畑耕作、薪炭材の過剰採取、不適切な商業用の伐採などがあげられます。

⑤海洋汚染

現在、世界中の多くの海で、生活排水、工場排水などによる汚染が進行しています。海洋生物への影響と魚などを通じた人体への影響が懸念されています。

⑥砂漠化

砂漠化とは緑豊かな土地が放牧や森林伐採などにより、植物が育たない不毛の土地に

なってしまうことです。地球の全陸地の4分の1が砂漠化の影響を受けているといわれています。

⑦野生生物種の減少

野生生物は熱帯林の減少などの生息環境の悪化や、乱獲により種の絶滅が進行しています。日本でも110種の生物が絶滅の危機に瀕しているといわれています。

⑧有害廃棄物の越境移動

経済成長により有害な廃棄物の発生量が増大し、国境を越えて発生国以外の国で処理されるが多くなりました。が、不適切な処理による環境への影響が懸念されています。

⑨開発途上国の環境問題

開発途上国では、急速な工業化、都市化による大気汚染、水質汚濁などの公害問題が深刻化しています。公害防止機器の導入や上下水道の整備が求められています。

時間が押ししてしまったので18時30分より一端懇親会に入りますが、途中よりスライドにより西部中間ゾーンの開発予定地、皆口集落上流部鏡池付近の地形、ブナ林の紹介を受ける。21時本時間副委員長の指導により懇親会終了。

二日目 南葉の清水を飲んで

南葉山キャンプ場の駐車場に集合。七沢自然保護委員長の先導の基、木落坂コースより青田南葉山を目指して登る。途中、なんばの延命水を飲んで活力をつけ、見晴し台からは快晴の展望説明を受ける。タムシバ平はまだ残雪が有る中の登山になる。ここは上越市の水源地になるところ。上

越市地内2580町歩、名立町地内3160町歩が市民の水瓶面積として自然が守られている。山頂は雪田になっており、二等三角点である。進路方向に妙高山、火打山、焼山が展望できる。皆口集落の南葉神社奥社が石祠で囲われている。杉の木も有るところから大事に守られていた時期が長かったと思われる。石祠の屋根は四方向に広がるもので、茅葺屋根型である。初めて見る形である。

1時間の休憩後22名登頂者は、今日の良き山頂のおいでを記念写真に残す。帰路は明神沢コースにて巨木のブナ林を観察しながら下山。根回り2.2mのブナに感嘆する。休憩を含めて登り1時間45分、

下り時間2時間10分の研修会は無事終了する。

次に案内には無かったが参加老若男女問わず南葉山で出逢い、歓声を上げさせてくれた草木を列挙する。

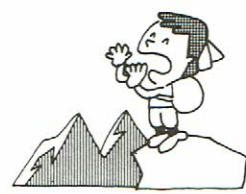
アオイスマミレ・アオキ・アズキナシ・アズマイチゲ・アズマシロカネソウ・イタヤカエデ・イワナシ・ウツギ・ウラジロノキ・ウラジロヨウラク・ウワミズザクラ・エンレイソウ・オオイワカガミ・カタクリ・カンアオイ・キイチゴ・キクザキイチゲ・クロモジ・コシノチャルメルソウ・コバ

イケソウ・コミヤマカタバミ・サンカヨウ・ショウジョウバカマ・シラネアオイ・シロバナオオイワカガミ・セイヨウタンポポ・セリバオウレン・タチツボスマミレ・タニツギ・タムシバ・チゴユリ・ツクバキンモンソウ・ツクバネソウ・ツボスマミレ・サルアリドウシ・ツルリンドウ・トコワラビ・ナルコユリ・ニシキゴロモ・

ニリンソウ・ネマガリタケの花・ノリウツギ・フデリンドウ・ホウチャクソウ・ホンバテンナンショウ・マンサク・ミズナ・ミツバアケビ・ムラサキヤシオ・ヤシヤブシ・ヤ

ナギ・ヤブコウジ・ヤブツバキ・ヤマエンゴサク・ヤマザクラ・ヤマネコノメソウ・ヤマボウシ・ユキザサ・ユキノシタの仲間

最後に、地元高田ハイキングクラブの皆様には設営、案内運営等をしつかり支えていただきましたことを感謝申し上げます。



山岳遭難救助研修会に参加して

岩船郡神林村七湊

天 井 和 衛

去る6月10日から14日まで5日間、富山県立山町にある文部省登山研究所に入所いたしました。

参加者は全国の警察、消防、自衛隊、大学生そして山対遭の機関から計58名の参加で山岳遭難救助研修会が行われました。

研修は、参加各機関ごとに12班に分かれ、柳沢所長の救助に対する安全対策に関する講義終了後、同研修所の人工

常務理事会報告

去る6月19日(土)に常務理事会が開催され、競技スポーツ指導者養成事業の事業計画の策定について協議が行われた。

これは指導者を対象に、系統だった技術指導法の講習会やスポーツ医・科学分野の研究会を実施、指導者の資質向上及び指導者間の共通理解を図って一貫性ある指導体制の基盤づくりの推進を目的とし、

出している、研修所職員並びに全講師を交えたディスカッションが行われ、議論白熱し終了時間を忘れての議論が繰り返されました。

研修の5日間をとおして、

岩場で実技訓練に移り、後日から同町、雑穀谷の岩場で実践的訓練が開始されました。雑穀谷の訓練は、高さ約100メートルの岩場からワイヤー、ザイルを利用した、吊り上り下げ訓練、そして約50メートルの岩場からは、背負い懸垂並びに背負い引き上げ救助訓練等が繰り返し行われました。夜間の研究協議では、参加した各機関とも救助に関するプロである事を事前に押し

当協会は平成11年度競技スポーツ指導者養成事業競技団体に

決定されたことにより、

基本的にはスポーツクライミングで実施することとし、技術指導は12月18日(土)三条市のウエストクライミングウォー

ルで日山協から講師を招いて行ない、スポーツ医学は11月14日(日)指導員研修会時に開催することになりました。

指導技術委員会が主体となつて実施することとなりますが

協力をお願いします。

○日山協自然保護指導者の更新未了の件は自然保護委員会

会

○弥彦松明登山打合せは藤井

協会長が出席。

○日山協の賛助会員には、平

田、土田、井出の各氏を推

せんする。

○全日本登山大会北信越地区

小田幸男さんご苦労さまでした

第39次南極地域観測越冬隊員帰国祝賀会開催

関川村山の会

横 山 征 平

岩広山岳会の小田幸男さん

(岩船広域消防署岩船分署長

勤務)が一昨年の11月同僚岳

友に見送られ、南極観測船

「ふじ」で東京晴海埠頭を出

航し、四百三十余日の越冬観

測隊員の任務を終え3月末に

無事帰国した。

小田幸男さんが職場に復帰

し一段落した去る5月29日村

上市内で同僚、山岳団体有志、

出身地区の皆さんら100人が出

席し、帰国祝賀会を開催した。

入場の吹奏ラッパを合図に

南極焼けた小田さんが奥さ

んを伴って入場。



帰国の挨拶をする小田氏

先ず、平田大六(山協副会長)祝賀会代表幹事)のあいさつにつづき、ご来賓の若林久徳(村上市長)、藤井信(山協会長)の祝辞。最後は小田幸男さんの帰国のあいさつとなったが、時間の関係で、詳しい南極越冬中

のお話は聞けなかったが、活躍の程をかいま見ることができた。越冬中の詳細については、今後方々で開催される講演会や、報告会にお願いすることとした。越冬任務もさることながら元気で無事帰国されたことは何よりである。

参加者のなかには、横山宏太郎第35次越冬隊長、片桐一夫第37次越冬隊員を勤められたお二人も出席され南極越冬

お知らせ

南極越冬501日 刊行

第37次南極観測隊員としてマイナス70度の極寒地で、初めて見る「地球の素顔」に驚き人類のふるさとである地球に感動した体験を長岡ハイキングクラブ会員である片桐一夫氏が発行しましたのでぜひ一読を!!



隊員三人衆が勢ぞろいした。小林憲三村上警察署長の乾杯の発声で懇親会に入ったが、会場は南極越冬中の話に花が咲き、熱気に溢れた祝賀会は時間がたりなかった。

当面は方々で開催の講演会や報告会の日程が詰まっているが、いづれじっくり南極越冬体験談をお聞きしたいものと今から楽しみである。ご苦労さまでした。

山の花めぐり 刊行

日本全国の高山植物を夫婦で撮り歩き、名前の由来を調べ、接写することでその花の特徴、美しさを限りなく撮し出しており、従来にない高山植物の写真集としてまとめました。

むささび会に所属している加藤明文氏ですが、夫婦で所属しており30年におたる撮影したなかからまとめてあり、生き生きと咲く花をながめ、高山植物の旅を楽しんでください。

第2回新潟カップ大会開催

県スポーツクライミング選手権大会・第2回新潟カップが6月12・13日糸魚川市民総合体育館クライミングウォールで県内外のクライマーが集り開催された。

クライミングの普及と底辺の拡大を目指してチャレンジをしてもらおうと実施しており昨年より参加者も増えたことに委員会としてはもっと充実をと考えていますので、今後も大勢の協力を待っています。

- 〔エキスパート男子〕
 - 1位 田中 勉 22・22 m
 - 2位 内山 豊 21・33 m
 - 2位 小野良典 21・33 m
 - 〔エキスパート女子〕
 - 1位 川内一美 25・43 m
 - 2位 田中加織 22・92 m
 - 2位 中嶋聖子 22・92 m
 - 〔ビギナー男子〕
 - 1位 須藤晴紀 25・41 m
 - 2位 尾形 宏 23・41 m
 - 3位 入山 敦 21・31 m
 - 〔ビギナー女子〕
 - 1位 田中加織 25・50 m
 - 1位 中嶋聖子 25・50 m
 - 3位 山下則子 25・41 m
 - 3位 南雲俊子 25・41 m

平成11年度8月専門委員会行事予定

日 時	行 事 名	会 場	担 当
11. 8.10	熊本国体合宿	熊 本 県	国 体
11. 8.	高校総体登山大会	早池峰・七崎雨山	高体連登山部
11. 8.18~21	集団登山指導者研修会	富山県立山周辺	指導技術
11. 8.21	ちびっこ大会	糸 魚 川 市	クライミング

日山協・文部省登山研修所等8月行事予定

日 時	行 事 名	会 場	担 当
11. 8. 5~9	高校・高専登山指導者夏山研修会	富 山 県 柳 岳	登山研修所
11. 8.18~21	集団登山指導者研修会	富山県立山周辺	登山研修所
11. 8.24~30	大学山岳部リーダー研修会	富 山 県 柳 岳	登山研修所

登山用品専門店

— 信頼できるパートナー —
大新スポーツ

新潟市東堀6 ☎(025)222-3736

登山・アウトドアの専門店

ICI 石井スポーツ
新潟駅前店

新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)